



自分たちの幸せが、関わる人すべての幸せにつながる

有給休暇の取得状況が見える化

働きやすい環境づくりの一環として、有給休暇の取得率を3年以内にまず50%にするべく全社で取り組んでいる。誰がどのくらい有給休暇を取得しているのかが分かるように、一覧表により見える化し、社内でも共有しており、多少のばらつきはあるものの有給休暇の取得率は着実に増加している。

なかでも現状は特に若手社員に有給休暇をしっかりと取得してもらうことに注力している。若手社員は、採用段階において、現在の当社の有給休暇制度、取得に関するルールや方針をしっかりと説明した上で入社してもらっていることもあり、そこにギャップが生じないようにしなければならないと注意している。そのため、上長が率先して取得し会社全体としての有給休暇を取得しやすい環境づくり、雰囲気づくりを大切にしている。来年には新たな勤怠管理システムを導入予定で、従業員はスマートフォンで有給休暇の取得状況などを確認できるようになる。所定休日や法定休日以外に休暇を取得することになるので、より計画的に有給を取得するよう意識付けしていきたい。中堅社員以上の有給休暇取得の徹底は若手に比べればこれからの段階であるが、働きやすい環境づくりは当社の経営指針書に基づく施策であることから、全社的に目標を達成するべく今後も引き続き取り組んでいく。

まずは自分たちが幸せになることから

当社の経営理念は、『PLASTICに生命を吹込む「ものづくり」を通じて、関わるひとが「幸せになる」会社～感謝と愛を持って、三方よしを追求する～』であるが、この経営理念を従業員と一緒につくりあげていく過程において、関わるひとが幸せになるために、まずは働いている自分たちが幸せになることが大切であると考えようになったことがきっかけである。

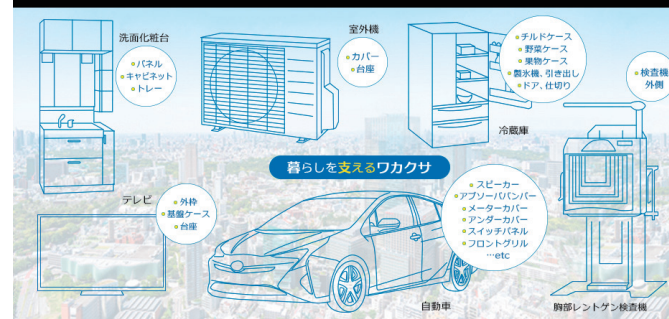
自分たちが幸せを感じない会社で、これから入社しようとする人たちに働いてもらおうと考えることは矛盾しているの、まずは自分たちの働く環境を自分たちで良くして、幸せを感じられる職場にしていこうという考えに至った。有給休暇の取得推進や取得状況の共有はその

考えに基づく取組のひとつである。

有給休暇の取得推進だけではなく、従業員それぞれが、5年後、10年後のビジョンを掲げ、未来の自分にどこまで近づくことができたのかを評価するという当社独自の新たな人事評価制度の構築を進めている。

なお、今年3月に事業を承継するという会社としての大きな変わり目の好機が重なったことも、このような改革を円滑に進められている要因である。

みんなが知っているあの製品の□□をつくっているのはワカクサです。



増収増益、そして環境にやさしい新事業へ

有給休暇の取得は、見える化の効果や若手社員への意識付けなどの取組もあり、中堅社員の取得推進という課題があるものの、着実に

進んでいる。それだけではなく、働きやすい環境づくりを進めることで全社として結束力が高まり、売上が増加するなど経営上の成果に着実に繋がっている。4年前までは6年連続赤字であったが、従業員とともに経営理念や経営指針をつくりあげ、その一環として働きやすい環境づくりを行ってきた直近の3年間は増収増益となった。4年前に比べて従業員数が10名以上になっており、当時は時間外労働が当たり前だったのが、現在では時間外労働が減ってきている。長らく1社の得意先への依存体質であったが、複数の業界の新たな得意先を開拓してきたことも奏功し、新型コロナウイルス感染症の影響もそれほど大きくは受けていない。

プラスチック製品に対する環境面での風当たりが強いこともあり、つくればつくるほど社会悪なのではないかというジレンマもあったが、設備投資を行い、新たな事業として廃プラスチックのリサイクル事業にも取り組んでいこうとしている。自分たちのやりたいこと、自分たちのできること、社会から求められていることを常に考え、経営理念を体現する企業として成長していきたい。



<https://wakakusa-ltd.co.jp>

企業情報

【業種】 製造業 【資本金】 1,000万円 【従業員】 38名
【所在地】 奈良県葛城市兵家227
【HP】 <https://wakakusa-ltd.co.jp/>

●事業概要

プラスチックに関わるものづくり、プラスチック金型企画・設計・製作、プラスチック製品企画・製造・販売、ウッドプラスチック・複合繊維プラスチック・容器リサイクル材料・再生材料の製造・販売

